

小白川地区 中郷集落 (●部落長 / 舟山嘉蔵 ●世帯数 / 41戸)



地場産作物の直売所「ばばちゃ店」は惜しくも数年前に店じまい。集落のシンボルでもあり、住民の拠り所でもあった名店。店を支えてきたメンバーも加わり、いま『中郷さくら会』というサロンが生まれようとしております。

■ 小さな集まりから定期的な集まりに。

- ・何かをやり遂げるための組織ではなく、何でも気楽にやれるサロンを作る。
⇒集落民の誇りでもある公民館前の「さくらの木」の下で今年の春みんなで花見をする。
お酒を飲める人も飲めない人も、まずは桜の花びらを塩漬けて作った「桜茶」で乾杯。

■ 地域や家庭から尊敬される高齢者を目指す。

- ・例え足が不自由になっても、集落のみんなに中郷の楽しみ方、暮らしの知恵を伝える。
⇒野菜作りや料理の名人など個々の特技が発揮される企画を集落行事に取り入れてみよう。

■ 家庭の味・自慢の一品をみんなで共有。

- ・漬け物の上手な作り方や珍しい作物をみんなに紹介し新たな楽しみを作る。
⇒根わさびや朝鮮人参など今まで出会ったことのない味が身近にあったのが驚き。
わさびは、おかゆパーティーの具材に活用。朝鮮人参は煎じてみんなで健康茶にして頂く。

■ やっぱり！畑づくりが生きがい。

- ・おばあちゃん手づくりの野菜を孫達にいっぱい食べてもらいたい。
⇒たくさん食べてもらえる方法を考える→ 珍しい料理、面白い食べ方を調べてみよう。